

日本の「食」を支える。

十勝は、長い日照時間、きれいな水と空気など、食料生産に恵まれた自然環境を持ち、安全でおいしい農林水産物を生み出す、「日本の食料供給基地」といえる地域です。

カロリーベースでの食料自給率は1,300%を超え、

人口約33万人の地域で

約400万人分もの食料を生産しています。

十勝には食品加工施設や

農業系の大学・試験研究機関が集積しているほか、

十勝産原料を使用した商品は

国内外で高い評価を受け、

まさに日本の食卓を支える地域となっています。

こうした地域の強みである

「食と農林漁業」を柱に、

まちづくりを進めていこうと、

「フードバレーとがち」を旗印に掲げ、

帯広市が中心となって

十勝19市町村で取り組んでいます。

日本を代表する

大規模畑作酪農地帯・食料供給基地という

背景を活かした、

生産・加工・流通・販売が結びついた

十勝型のフードシステムを、

オール十勝でつくりあげていきます。

安全・安心な農林水産物を生産し、

地元で加工することで付加価値をつけ、

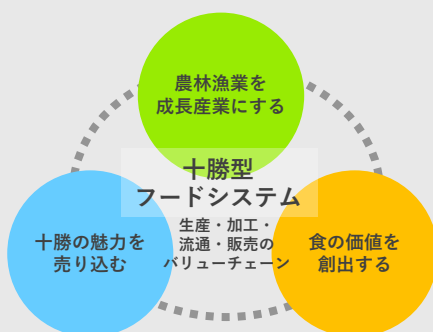
十勝のブランド力を活かし、

国内外への販路拡大や魅力の発信を進めていきます。

フードバレーとがちでアジアの拠点を目指す

フードバレーとがちでは、十勝の優位性を活かすための方向性として、3つの柱で進めています。

フードバレーとがちを推進し、国内のみならず国外市場にも目を向けながら、十勝はアジアの食と農林漁業の集積拠点を目指していきます。



フードバレーとがちな3つの柱